

NetSuiteSuiteCloud プラットフォーム 2023 リリース 1 による統合とカスタマイズ機能の拡張

Erik Klein、アウトバウンド・プロダクト・マネージャー、SuiteCloud プラットフォーム

SuiteCloud プラットフォームでは、スニーク・ピーク 2023 リリース 1 の新機能が Visual Studio Code 拡張機能およびその他の機能に追加されます。（新しい REST レコードや Java 17 のサポートなど）

SuiteCloud は、NetSuite アカウントをカスタマイズ、統合、拡張および管理するための強力なプラットフォーム・ツールおよびテクノロジーを提供します。ソフトウェア開発者と技術管理者向けに作成された SuiteCloud は、何千ものお客様に使用されています。お客様はアカウントをカスタマイズして、Suite の価値を最大限に活用しています。

NetSuite 2023 リリース 1 では、カスタマイズの構築と管理、他のアプリケーションとの統合、Java プラットフォームの利用可能な最新機能の活用を容易にする様々な拡張機能を提供しています。

SuiteTalkWeb サービスによる新しい REST レコードの提供

お客様が SuiteTalk REST Web サービスを使用して NetSuite アカウントを外部システムおよびアプリケーションとより完全に統合できるように、8 つの新しい標準 REST レコードを追加しました。

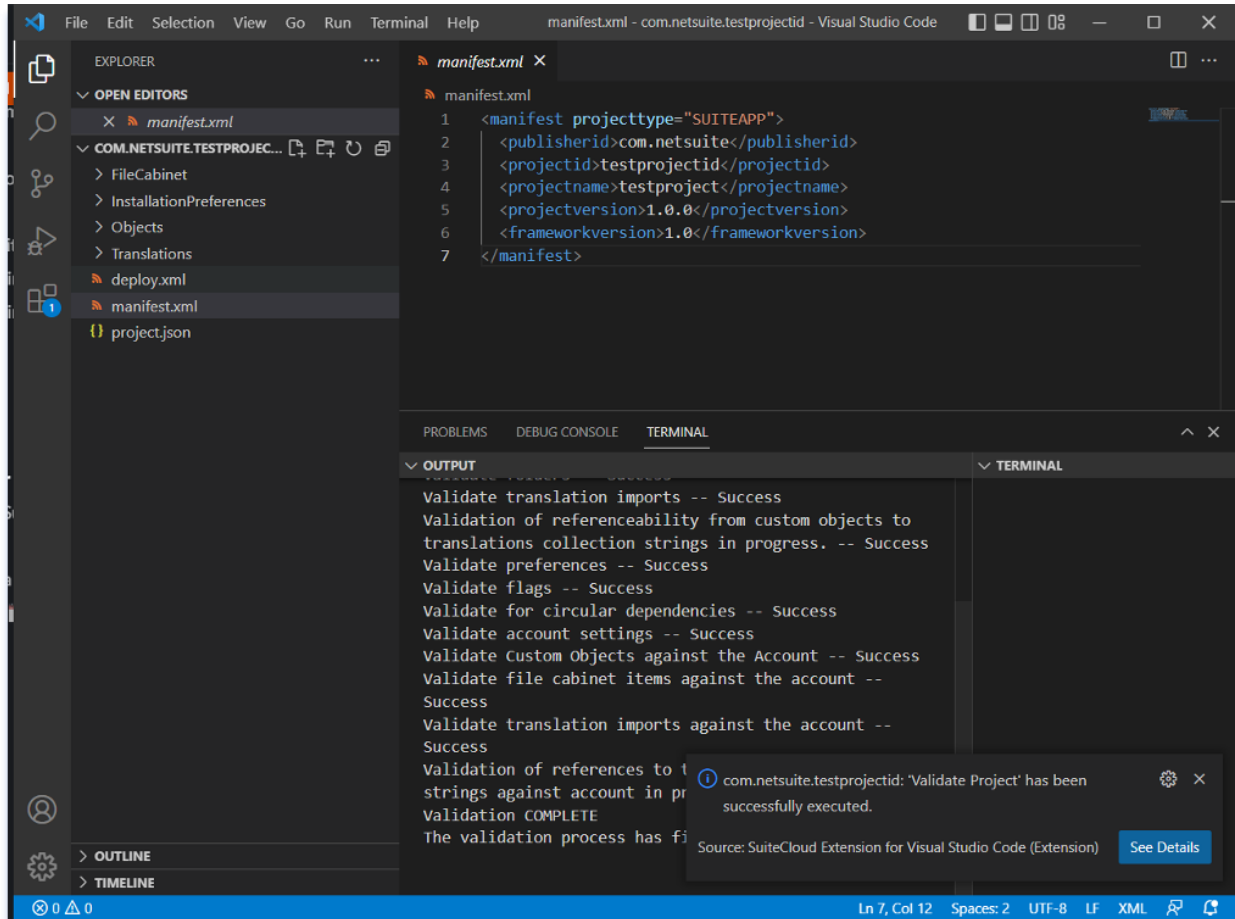
NetSuite 2023 リリース 1 の新しい REST レコードには次のものが含まれています:

- 仕入先返品
- 預入
- 顧客入金
- アイテム・グループ
- 説明アイテム
- 配送リクエスト
- 非在庫購入アイテム
- 非在庫再販用アイテム

[ヘルプ・センターのドキュメント \(英語版\)](#) を参照してください。これらの新しいレコードは、[REST API ブラウザ \(英語版\)](#) でも詳しく説明されています。

SuiteCloud Extension for Visual Studio Code (VS Code) の新機能

SuiteCloud のプロジェクト検証。 開発者は、VSCode 内から SuiteCloud 開発フレームワーク (SDF) を活用して、プロジェクトをデプロイする前に、カスタム・コード・モジュールのサーバー側検証を実行してエラーを検出できるようになりました。検証プロセスでは、マニフェスト、構成、スクリプト、オブジェクト、依存関係、アカウント設定などを含むすべてのプロジェクト・アセットが正しく定義されていることを確認し、エラーが検出された場合はアクション可能なコンソール・メッセージを返します。



アカウントからのカスタム・レコード・インスタンスのインポート。 開発者は、本番およびテスト・アカウント内で定義された新規または変更されたカスタム・レコード・インスタンスへのアクセスが必要になる場合があります。このリリースより前は、各インスタンスの XML 定義を取得するには、手動のダウンロードが必要でした。23.1 では、SuiteCloud ユーザーは、VS Code ベースの開発環境からすべてのカスタム・レコード・インスタンスに直接アクセスできます。

SuiteCloud CLI for Node.js は、NetSuite アカウント内のカスタム・レコード・インスタンスにアクセスする機能もサポートしています。Node CLI と VS Code 環境の両方に同等の機能を提供しており、これらを一緒に使用できます。

ローカル・ファイルとアカウント・ファイルの比較。ローカル開発環境でファイルを操作するとき、ローカル・インスタンスとターゲット・アカウント内に存在するインスタンスとの差異を識別して解決する必要がある場合があります。VSCode は、差異自体を強調表示する直感的な UI 内で差異を簡単に識別する機能をサポートするようになりました。差異は分割エディタ・ビューに表示され、簡単に比較できます。

アカウントおよび authID の管理。このリリースでは、アカウント名、ユーザー・ロール、URL などの authID フィールドを、VSCode を使用して定義および操作する機能を追加しました。これらのパラメータは、開発者がローカル環境内から直接問い合わせおよび更新でき、ソフトウェアのライフサイクル全体で重要な認証データを簡単に操作できます。

SuiteCloud IDE Eclipse プラグイン

SuiteCloud IDE Plug-in for Eclipse は、NetSuite 2023 リリース 1 で引き続きサポートされます。ただし、このプラグインは新機能では更新されません。Eclipse から [SuiteCloud Extension for Visual Studio Code](#) または [SuiteCloud IDE Plug-In for WebStorm](#) に移行することをお勧めします。

SuiteCloud CLI Java バージョン

このリリースでは、SuiteCloud CLI に Java 17 および Oracle JDK バージョン 17 のサポートが追加され、SDF プロジェクトを管理するアプリケーションを構築する際に最新の Java 標準への準拠が維持されます。

NetSuite 2023 リリース 1 がどう役立つかについての理解を深める

機能の完全なリストとその使用方法については、[リリース・ノート](#)を参照してください。

また、ハンズオン・アクセスにより新機能がお客様のデータ、ワークフローおよびカスタマイズでどのように役立つか試してみるために、[リリース・プレビュー・テスト・アカウント](#)も忘れずにお申し込みください。

上記の事項は、オラクルの一般的な製品の方向性の概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。マテリアルやコード、機能を提供することのコミットメント(確約)ではないため、購買決定を行う際の判断材料になさらないでください。オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリース、時期および価格については、オラクルの単独の裁量により変更される可能性があります。